三陸復興国立公園
（南三陸金華山地域）

公園区域及び公園計画変更書

［一部変更］

（環境省原案）

令和　年　月　日
環　境　省

目　次

第１　公園区域の変更 1
１　変更理由 1
２　指定理由の変更内容 2
３　地域の概要の変更内容 6
４　変更する公園区域 12
第２　公園計画の変更 17
１　変更理由 17
２　規制計画の変更内容 18
（１）保護規制計画等 18
ア　海域公園地区 18
イ　関連事項 19
ウ　面積内訳 21
３　事業計画の変更内容 31
（１）自然体験活動計画 31

第１　公園区域の変更

１　変更理由

三陸復興国立公園の前身である陸中海岸国立公園は、わが国を代表する海岸景観を有する国立公園として、昭和 30 年５月２日に、岩手県下閉伊郡普代村から釜石市までの太平洋に面した海岸線を中心に指定され、その後幾度かの区域拡張を行い、平成 24 年には東北地方太平洋沖地震による東日本大震災からの復興に貢献するため策定した「三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興のビジョン」に基づき、東北地方太平洋沿岸の自然公園を再編成することを位置付け、平成 25 年に種差海岸階上岳県立自然公園を編入の上、三陸復興国立公園への名称変更を行い、平成 27 年には南三陸金華山国定公園の編入を行った。

宮城県南三陸町の志津川湾では、平成 30 年のラムサール条約湿地への登録を契機とし、保全活用の取組の一環で地域の関係者により干潟部の沿岸生態系の調査が進められているほか、本公園内外の藻場・干潟において保全・再生事業が進められている。また、持続可能な観光を軸に、マリンアクティビティ等自然体験活動の取組が進められている。

特に、志津川湾湾奥部の河口や干潟等の潮間帯は、東日本大震災による津波及びその後の復興事業の影響を受けたものの、地域での保全・再生事業が進められており、干潟の回復が見込まれている。当該地区は底生動物の貴重な生息地として相当の規模を有し、生物多様性の保全の上でも重要である。また、湾奥部の袖浜海水浴場は東日本大震災により砂浜が全て流出したものの再建され海水浴利用が再開し、公園利用上重要な海域となっている。

これらの自然環境及び社会的条件の変化を踏まえ、南三陸金華山地域を対象として公園区域及び公園計画の一部変更を行い、沿岸部における潮間帯を含めた海域景観の保護の観点から、既存の志津川湾内湾部の海域公園地区と一体的に適切に保全し利用の増進を図るため、当該地区を公園区域に編入する。

２　指定理由の変更内容

指定理由を次のとおり変更する。

（表１：指定理由変更表）

変更後	変更前
三陸復興国立公園は、青森県八戸市蕪島から青森県三戸郡階上町までの海岸線と同町内陸部に位置する階上岳からなる種差海岸階上岳地域、及び岩手県久慈市から宮城県石巻市牡鹿半島までの海岸線沿いに位置する三陸海岸地域からなり、公園区域が指定されていない岩手県洋野町も含めた南北の直線延長は約 250km である。これらは北上山地が太平洋に接する地域であり、地形の形成史及び地質の観点から一体的な地域である。海岸地形は岩手県宮古市以北の海食崖と段丘面からなる海成段丘と同市以南のリアス海岸に分けられ、豪壮かつ優美な自然海岸の景観を有している。	三陸復興国立公園は、青森県八戸市蕪島から青森県三戸郡階上町までの海岸線と同町内陸部に位置する階上岳からなる種差海岸階上岳地域、及び岩手県久慈市から宮城県石巻市牡鹿半島までの海岸線沿いに位置する三陸海岸地域からなり、公園区域が指定されていない岩手県洋野町も含めた南北の直線延長は約 250km である。これらは北上山地が太平洋に接する地域であり、地形の形成史及び地質の観点から一体的な地域である。海岸地形は岩手県宮古市以北の海食崖と段丘面からなる海成段丘と同市以南のリアス海岸に分けられ、豪壮かつ優美な自然海岸の景観を有している。
これらのことから、種差海岸階上岳地域及び三陸海岸地域をわが国最大級の海食崖とリアス海岸が連続した傑出した自然海岸を風景型式とする三陸復興国立公園に指定するものである。	これらのことから、種差海岸階上岳地域及び三陸海岸地域をわが国最大級の海食崖とリアス海岸が連続した傑出した自然海岸を風景型式とする三陸復興国立公園に指定するものである。
このうち、岩手県下閉伊郡普代村から岩手県釜石市までの太平洋に面した海岸線を中心とした地域が、昭和 30 年５月２日に陸中海岸国立公園として指定された。昭和 39 年６月１日には、釜石市から気仙沼市までの南部地域が拡張され、昭和 46 年１月 22 日には岩手県久慈市から普代村までの北部地域の拡張とともに３箇所の海中公園地区（現海域公園地区）が指定された。その後、平成６年には公園区域及び公園計画の全般的な見直し（再検討）、平成 12 年及び 17 年には公園区域及び公園計画の変更（点検）が行われている。	このうち、岩手県下閉伊郡普代村から岩手県釜石市までの太平洋に面した海岸線を中心とした地域が、昭和 30 年５月２日に陸中海岸国立公園として指定された。昭和 39 年６月１日には、釜石市から気仙沼市までの南部地域が拡張され、昭和 46 年１月 22 日には岩手県久慈市から普代村までの北部地域の拡張とともに３箇所の海中公園地区（現海域公園地区）が指定された。その後、平成６年には公園区域及び公園計画の全般的な見直し（再検討）、平成 12 年及び 17 年には公園区域及び公園計画の変更（点検）が行われている。

変更後	変更前
種差海岸階上岳地域は、青森県立自然公園条例に基づき種差海岸階上岳県立自然公園に（昭和 28 年６月当初指定）、宮城県気仙沼市から石巻市牡鹿半島までの地域は南三陸金華山国定公園に（昭和 54 年３月 30 日）それぞれ指定されていたが、平成 22 年に評価を行ったところ（国立・国定公園総点検事業（平成 22 年 10 月、環境省公表））、その地質及び地史の観点から陸中海岸国立公園と一体のものとして拡張候補地に選定された。	種差海岸階上岳地域は、青森県立自然公園条例に基づき種差海岸階上岳県立自然公園に（昭和 28 年６月当初指定）、宮城県気仙沼市から石巻市牡鹿半島までの地域は南三陸金華山国定公園に（昭和 54 年３月 30 日）それぞれ指定されていたが、平成 22 年に評価を行ったところ（国立・国定公園総点検事業（平成 22 年 10 月、環境省公表））、その地質及び地史の観点から陸中海岸国立公園と一体のものとして拡張候補地に選定された。
これを踏まえて、陸中海岸国立公園の第３次点検作業を開始した矢先、平成 23 年３月 11 日に東北地方太平洋沖地震が発生した。この地震に伴う強い揺れ、大規模な津波及び地盤沈下は多くの人々の生命や財産に被害をもたらすとともに、自然環境にも大きな影響を与えた。海食崖等の岩石海岸に対する顕著な影響はほとんど見られなかったが、多くの砂浜海岸では、津波及び地盤沈下により、砂浜の幅が狭くなる、砂浜が消失するなどの地形の変化が確認され、現在も変化し続けている場所がある。また、希少植物を含めた植物の消失、減少等の植生変化も確認されている。干潟については、津波により地形が大きく改変された場所もあり、多くの干潟で生物種の構成に変化が見られた。海藻藻場は沿岸全体でみると影響は限定的だったものの、アマモ場では、海底地形の変化、砂泥の流出等による消失が多く確認されたとともに、地盤沈下による水深の変化等により、今後藻場の分布等が変化していくことも予想される。海鳥への影響は現在までのところ確認されていないが、渡り鳥については、生息環境である干潟や砂浜等の変化によって、今後影響が現れる可能性もある。	これを踏まえて、陸中海岸国立公園の第３次点検作業を開始した矢先、平成 23 年３月 11 日に東北地方太平洋沖地震が発生した。この地震に伴う強い揺れ、大規模な津波及び地盤沈下は多くの人々の生命や財産に被害をもたらすとともに、自然環境にも大きな影響を与えた。海食崖等の岩石海岸に対する顕著な影響はほとんど見られなかったが、多くの砂浜海岸では、津波及び地盤沈下により、砂浜の幅が狭くなる、砂浜が消失するなどの地形の変化が確認され、現在も変化し続けている場所がある。また、希少植物を含めた植物の消失、減少等の植生変化も確認されている。干潟については、津波により地形が大きく改変された場所もあり、多くの干潟で生物種の構成に変化が見られた。海藻藻場は沿岸全体でみると影響は限定的だったものの、アマモ場では、海底地形の変化、砂泥の流出等による消失が多く確認されたとともに、地盤沈下による水深の変化等により、今後藻場の分布等が変化していくことも予想される。海鳥への影響は現在までのところ確認されていないが、渡り鳥については、生息環境である干潟や砂浜等の変化によって、今後影響が現れる可能性もある。
環境省は、東日本大震災からの復興に貢献するため、三陸復興国立	環境省は、東日本大震災からの復興に貢献するため、三陸復興国立

変更後	変更前
公園の創設を核としたグリーン復興のビジョン（平成 24 年５月）を公表した。同ビジョンでは、三陸復興国立公園の創設（自然公園の再編成）の他、里山・里海フィールドミュージアムと施設整備、地域の宝を活かした自然を深く楽しむ旅（復興エコツーリズム）、南北につなぎ交流を深める道（東北海岸トレイル）、森・里・川・海のつながりの再生、持続可能な社会を担う人づくり（ESD）の推進、地震・津波による自然環境の影響の把握（自然環境モニタリング）といった具体的なプロジェクトの実施を通じて、森・里・川・海のつながりにより育まれてきた自然環境と地域の暮らしを後世に伝え、自然の恵みと脅威を学びつつ、それらを活用しながら復興することを提唱している。三陸復興国立公園の創設にあたっては、青森県八戸市の蕪島から宮城県石巻市・女川町の牡鹿半島まで及びその周辺の自然公園を段階的に再編成することとしており、平成 25 年５月 24 日に種差海岸階上岳県立自然公園を陸中海岸国立公園に編入し、三陸復興国立公園として指定した。	公園の創設を核としたグリーン復興のビジョン（平成 24 年５月）を公表した。同ビジョンでは、三陸復興国立公園の創設（自然公園の再編成）の他、里山・里海フィールドミュージアムと施設整備、地域の宝を活かした自然を深く楽しむ旅（復興エコツーリズム）、南北につなぎ交流を深める道（東北海岸トレイル）、森・里・川・海のつながりの再生、持続可能な社会を担う人づくり（ESD）の推進、地震・津波による自然環境の影響の把握（自然環境モニタリング）といった具体的なプロジェクトの実施を通じて、森・里・川・海のつながりにより育まれてきた自然環境と地域の暮らしを後世に伝え、自然の恵みと脅威を学びつつ、それらを活用しながら復興することを提唱している。三陸復興国立公園の創設にあたっては、青森県八戸市の蕪島から宮城県石巻市・女川町の牡鹿半島まで及びその周辺の自然公園を段階的に再編成することとしており、平成 25 年５月 24 日に種差海岸階上岳県立自然公園を陸中海岸国立公園に編入し、三陸復興国立公園として指定した。
岩手県久慈市から宮城県気仙沼市までの地域(旧・陸中海岸国立公園の区域)は、岩手県の宮古湾付近を境に、北部は大規模な海成段丘が発達し、高さ 50m から 200m にも達する海食崖をはじめとする豪壮な海岸景観を有している。南部はリアス海岸で、外洋に長く突き出た半島や岬と深く穏やかな湾入がくり返し展開し、変化に富んだ優美な海岸景観となっている。	岩手県久慈市から宮城県気仙沼市までの地域(旧･陸中海岸国立公園の区域)は、岩手県の宮古湾付近を境に、北部は大規模な海成段丘が発達し、高さ 50m から 200m にも達する海食崖をはじめとする豪壮な海岸景観を有している。南部はリアス海岸で、外洋に長く突き出た半島や岬と深く穏やかな湾入がくり返し展開し、変化に富んだ優美な海岸景観となっている。
種差海岸階上岳地域は、三陸海岸北部から続く海成段丘の北端に当たる地域である。海岸線は、岩礁海岸、砂浜海岸、海食海岸等の多様な地形が入り交じり、海岸植生、シバ草地、クロマツ林等の植生と	種差海岸階上岳地域は、三陸海岸北部から続く海成段丘の北端に当たる地域である。海岸線は、岩礁海岸、砂浜海岸、海食海岸等の多様な地形が入り交じり、海岸植生、シバ草地、クロマツ林等の植生と

変更後	変更前
あいまって、変化に富む海岸風景が形成されるとともに、ウミネコ等の海鳥類の重要な生息地にもなっている。また、階上岳は北上山地の最北の山であり、高標高部には天然のヤマツツジが群生しているほか、山頂からは、太平洋、八甲田連峰、北上山地の山々等が一望でき、優れた眺望を有している。 宮城県気仙沼市から石巻市牡鹿半島までの地域（旧南三陸金華山国定公園の区域）は、荒波によって浸食された海食崖を有するリアス海岸及び海上に浮かぶ多くの島しょからなる優美な海岸景観及び田束山や横山不動尊など寺社仏閣に護られた原生的な森林景観からなっている。本地域は、馬淵川まで広がる先新第三系の古い地層に覆われており、発達したリアス海岸は、宮古以南から続く海岸線と直行した断層が浸食され、沈水したことから成り立っている地形であり、北上山地の地形と一体である。 以上を踏まえ、今般、豪壮かつ優美な自然海岸を有するとともに、自然の恵みと脅威、人と自然との共生により育まれてきた暮らしと文化が感じられる国立公園として、海食崖、外洋性と内湾性の両方の風景を有するリアス海岸、砂浜海岸とマツ林、海岸植生や藻場・干潟、古い年代の地質と化石、海鳥の繁殖地、津波の痕跡、文化景観等の景観要素から成る風致景観の保全を図り、森・里・川・海のつながりの再生により生物多様性が豊かな自然環境を創出するとともに、被災した利用施設の復旧・再整備を含む適切な利用の推進を図るものである。	あいまって、変化に富む海岸風景が形成されるとともに、ウミネコ等の海鳥類の重要な生息地にもなっている。また、階上岳は北上山地の最北の山であり、高標高部には天然のヤマツツジが群生しているほか、山頂からは、太平洋、八甲田連峰、北上山地の山々等が一望でき、優れた眺望を有している。 宮城県気仙沼市から石巻市牡鹿半島までの地域（南三陸金華山国定公園の区域）は、荒波によって浸食された海食崖を有するリアス海岸及び海上に浮かぶ多くの島しょからなる優美な海岸景観及び田束山や横山不動尊など寺社仏閣に護られた原生的な森林景観からなっている。本地域は、馬淵川まで広がる先新第三系の古い地層に覆われており、発達したリアス海岸は、宮古以南から続く海岸線と直行した断層が浸食され、沈水したことから成り立っている地形であり、北上山地の地形と一体である。 以上を踏まえ、今般、豪壮かつ優美な自然海岸を有するとともに、自然の恵みと脅威、人と自然との共生により育まれてきた暮らしと文化が感じられる国立公園として、海食崖、外洋性と内湾性の両方の風景を有するリアス海岸、砂浜海岸とマツ林、海岸植生や藻場、古い年代の地質と化石、海鳥の繁殖地、津波の痕跡、文化景観等の景観要素から成る風致景観の保全を図り、森・里・川・海のつながりの再生により生物多様性が豊かな自然環境を創出するとともに、被災した利用施設の復旧・再整備を含む適切な利用の推進を図るものである。

３　地域の概要の変更内容

地域の概要を次のとおり変更する。

（表２：地域概要変更表）

変更後	変更前
（１）景観の特性 ア　地形、地質 （略） イ　植生・野生生物 （略） ウ　自然現象 （略） エ　文化景観 （略） （２）利用の現況 種差・階上海岸においては海岸景観や海浜植物の観察等を目的とした自然探勝が多く、その他、海水浴、サーフィン、キャンプ、磯遊び、魚釣り、ボルダリング等の利用が見られる。階上岳においては、登山、ハイキング、自然観察、風景探勝等を目的とした利用が多い。登山口には駐車場、トイレ等の施設が整備されており、マイカー利用に適している。種差海岸階上岳地域には平成 26 年に年間約 47 万人の利用者が訪れている。	（１）景観の特性 ア　地形、地質 （略） イ　植生・野生生物 （略） ウ　自然現象 （略） エ　文化景観 （略） （２）利用の現況 種差・階上海岸においては海岸景観や海浜植物の観察等を目的とした自然探勝が多く、その他、海水浴、サーフィン、キャンプ、磯遊び、魚釣り、ボルダリング等の利用が見られる。階上岳においては、登山、ハイキング、自然観察、風景探勝等を目的とした利用が多い。登山口には駐車場、トイレ等の施設が整備されており、マイカー利用に適している。種差海岸階上岳地域には平成 26 年に年間約 47 万人の利用者が訪れている。

変更後	変更前
三陸海岸においては、変化に富んだ岩壁のほか、砂浜もいくつかあり、公園区域に平行して走る国道 45 号線及びそれにつながる車道を介して、これらの景観観賞や自然探勝が通年的に見られる利用方法である。夏期には、沿岸各所に整備された野営場でのキャンプ利用や海水浴利用が多いほか、海釣りやカヤックなどのマリンスポーツが行われている。また、新鮮な魚介類や海藻、雑穀を用いた郷土料理等の味覚探訪を目的とした利用も多く見られる。浄土ヶ浜をはじめ、遊覧船が出航している地区もあり、陸上のみでなく、海上から海岸景観を楽しむ利用もある。近年は、田野畑村や気仙沼大島等で体験型利用の取組みも行われており、サッパ船ツアー、ガイドウォーク、地引き網、無人島体験等も実施されている。三陸海岸地域には令和５年に約 415 万人の利用者が訪れているが、震災による施設の被害等により、利用が戻っていない。今後、地域の自然環境を活用した観光振興を目指したエコツアー、森・里・川・海のつながりの再生や、それらを感じられる自然体験活動、沿岸を歩くトレッキング等の利用が期待される。	三陸海岸においては、変化に富んだ岩壁のほか、砂浜もいくつかあり、公園区域に平行して走る国道 45 号線及びそれにつながる車道を介して、これらの景観観賞や自然探勝が通年的に見られる利用方法である。夏期には、沿岸各所に整備された野営場でのキャンプ利用や海水浴利用が多いほか、海釣りやカヤックなどのマリンスポーツが行われている。また、新鮮な魚介類や海藻、雑穀を用いた郷土料理等の味覚探訪を目的とした利用も多く見られる。浄土ヶ浜をはじめ、遊覧船が出航している地区もあり、陸上のみでなく、海上から海岸景観を楽しむ利用もある。近年は、田野畑村や気仙沼大島等で体験型利用の取組みも行われており、サッパ船ツアー、ガイドウォーク、地引き網、無人島体験等も実施されている。三陸海岸地域には平成 22 年に約 407 万人の利用者が訪れているが、震災による施設の被害等により、利用が戻っていない。今後、地域の自然環境を活用した観光振興を目指したエコツアー、森・里・川・海のつながりの再生や、それらを感じられる自然体験活動、沿岸を歩くトレッキング等の利用が期待される。
（３）社会経済的背景	（３）社会経済的背景
ア　土地所有別	ア　土地所有別
本公園は、国有地 2,776ha、公有地 3,057ha、私有地 8,802ha（旧南三陸金華山国定公園からの編入区域 13,905ha は復興事業による買上げ等により計測できないため除く）であり、私有地及び公有地の公園全体に占める割合が大きい。	本公園は、国有地 2,776ha、公有地 3,057ha、私有地 8,802ha（南三陸金華山国定公園からの編入区域 13,902ha は復興事業による買上げ等により計測できないため除く）であり、私有地及び公有地の公園全体に占める割合が大きい。
イ　人口及び産業	イ　人口及び産業

変更後

本公園区域に関係する各市町村の人口及び世帯数は、次の通りである。

（令和８年７月現在）

県名	市町村名	世帯数（戸）	人口（人）
青森県	八戸市	110,084	210,609
	階上町	6.016	12,245
岩手県	宮古市	22,112	43,869
	大船渡市	14,686	31,032
	久慈市	15,229	30,152
	陸前高田市	7,507	16,532
	釜石市	15,053	27,643
	大槌町	5,132	10,071
	山田町	6,284	13,228
	岩泉町	3,947	7,441
	田野畑村	1,310	2,753
	普代村	1,033	2,183
	野田村	1,639	3,756
宮城県	石巻市	62,504	128,689
	気仙沼市	25,987	54,357
	登米市	27,141	69,479
	女川町	3,053	5,656
	南三陸町	4,354	11,015

※釜石市、気仙沼市、南三陸町は令和８年６月、大槌町は令和８年５月時点。

各公園区域内の居住者は各市町村とも少数である。水産業やサー

変更前

本公園区域に関係する各市町村の人口及び世帯数は、次の通りである。

（平成 29 年３月現在）

県名	市町村名	世帯数（戸）	人口（人）
青森県	八戸市	107,604	233,070
	階上町	5,898	13,844
岩手県	宮古市	24,187	55,586
	大船渡市	15,031	37,351
	久慈市	15,618	34,978
	陸前高田市	7,592	19,367
	釜石市	16,832	36,140
	大槌町	5,455	11,601
	山田町	6,668	15,487
	岩泉町	4,539	9,560
	田野畑村	1,446	3,408
	普代村	1,157	2,746
	野田村	1,657	4,088
宮城県	石巻市	61,006	146,991
	気仙沼市	26,731	65,488
	登米市	26,938	81,208
	女川町	3,137	6,668
	南三陸町	4,577	13,426

各公園区域内の居住者は各市町村とも少数である。水産業やサー

変更後	変更前
ビス業を主要産業とする市町村が多く、国立公園と関わりの深い産業としては漁業、林業及び観光業が挙げられる。 八戸市ではスルメイカやサバの水揚げが多く、地域の特産品となっている。一方、宮古市以北の三陸海岸北部ではさけ・ます類の水揚げが多く、山田、大船渡、陸前高田、気仙沼、石巻等の三陸海岸南部ではサンマの水揚げが多い傾向にある。さらに、宮古以南ではリアス海岸の穏やかな内湾を利用して、ホタテやカキ、ワカメ等の養殖が盛んに行われている。 また、三陸地域は「やませ」の影響を強く受ける地域のため米作に向かない土地が多く、特に宮古市以北の地域では、海成段丘上のなだらかな地形を利用した酪農や野菜生産が行われている。 このような特産物を観光客向けに販売するため、各地に市場や直売所等が設けられており、地域の自然がもたらす豊かな恵みは当地域の重要な観光資源にもなっている。その他、観光客の利用施設として、宮古姉ヶ崎、浄土ヶ浜、碁石海岸、気仙沼大島、鮎川浜等の拠点地域において宿泊施設が営まれている。	ビス業を主要産業とする市町村が多く、国立公園と関わりの深い産業としては漁業、林業及び観光業が挙げられる。 八戸市ではスルメイカやサバの水揚げが多く、地域の特産品となっている。一方、宮古市以北の三陸海岸北部ではさけ・ます類の水揚げが多く、山田、大船渡、陸前高田、気仙沼、石巻等の三陸海岸南部ではサンマの水揚げが多い傾向にある。さらに、宮古以南ではリアス海岸の穏やかな内湾を利用して、ホタテやカキ、ワカメ等の養殖が盛んに行われている。 また、三陸地域は「やませ」の影響を強く受ける地域のため米作に向かない土地が多く、特に宮古市以北の地域では、海成段丘上のなだらかな地形を利用した酪農や野菜生産が行われている。 このような特産物を観光客向けに販売するため、各地に市場や直売所等が設けられており、地域の自然がもたらす豊かな恵みは当地域の重要な観光資源にもなっている。その他、観光客の利用施設として、宮古姉ヶ崎、浄土ヶ浜、碁石海岸、気仙沼大島、鮎川浜等の拠点地域において宿泊施設が営まれている。
ウ　権利制限関係 （ア）～（ウ） （略）	ウ　権利制限関係 （ア）～（ウ） （略）
（エ）海岸保全区域（県管理分）	（エ）海岸保全区域（県管理分）

種類	位置	重複延長	指定年月日
国土交通省所管	青森県八戸市地内	3.2km	昭38.11.30他

種類	位置	重複延長	指定年月日
国土交通省所管	青森県八戸市地内	3.2km	昭38.11.30他

変更後				変更前			
	青森県三戸郡階上町地内	2.1km	昭44.３.20他		青森県三戸郡階上町地内	2.1km	昭44.３.20他
	岩手県宮古市地内	0.6 km	昭38.４.12他		岩手県宮古市地内	0.6 km	昭38.４.12他
	岩手県陸前高田市地内	1.8 km	昭48.６.22		岩手県陸前高田市地内	1.8 km	昭48.６.22
	岩手県釜石市地内	0.1 km	昭33.５.６		岩手県釜石市地内	0.1 km	昭33.５.６
	岩手県下閉伊郡山田町地内	0.2 km	昭44.４.15他		岩手県下閉伊郡山田町地内	0.2 km	昭44.４.15他
	岩手県下閉伊郡岩泉町地内	0.4 km	昭46.３.９他		岩手県下閉伊郡岩泉町地内	0.4 km	昭46.３.９他
	岩手県下閉伊郡普代村地内	1.3 km	昭40.２.12他		岩手県下閉伊郡普代村地内	1.3 km	昭40.２.12他
	岩手県九戸郡野田村地内	3.9 km	昭46.１.29他		岩手県九戸郡野田村地内	3.9 km	昭46.１.29他
	宮城県石巻市地内	4.2 km	昭33.３.28他		宮城県石巻市地内	4.2 km	昭33.３.28他
	宮城県気仙沼市地内	12.4 km	昭37.６.19他		宮城県気仙沼市地内	12.4 km	昭37.６.19他
	宮城県本吉郡南三陸町地内	15.4 km	昭48.10.19他		宮城県本吉郡南三陸町地内	6.4 km	昭48.10.19他
農林水産省（水産庁）所管	青森県八戸市地内	0.3km	昭38.11.30	農林水産省（水産庁）所管	青森県八戸市地内	0.3km	昭38.11.30
	青森県三戸郡階上町地内	0.3km	昭62.10.31		青森県三戸郡階上町地内	0.3km	昭62.10.31
	岩手県宮古市地内	0.3 km	昭40.３.30		岩手県宮古市地内	0.3 km	昭40.３.30

変更後			
	岩手県大船渡市地内	2.3 km	昭43. 1.12他
	岩手県陸前高田市地内	10.7 km	昭43. 4. 9
	岩手県釜石市地内	1.3 km	昭40.12.17他
	岩手県上閉伊郡大槌町地内	6.0 km	昭40. 3.30
	岩手県下閉伊郡岩泉町地内	0.4 km	昭46. 9.17
	岩手県下閉伊郡田野畑村地内	0.5 km	昭39.11.13
	宮城県気仙沼市地内	1.7 km	昭54. 3.13他
	宮城県本吉郡南三陸町地内	0.4 km	昭48.10.19

（オ）都市公園・風致地区

（略）

変更前			
	岩手県大船渡市地内	2.3 km	昭43. 1.12他
	岩手県陸前高田市地内	10.7 km	昭43. 4. 9
	岩手県釜石市地内	1.3 km	昭40.12.17他
	岩手県上閉伊郡大槌町地内	6.0 km	昭40. 3.30
	岩手県下閉伊郡岩泉町地内	0.4 km	昭46. 9.17
	岩手県下閉伊郡田野畑村地内	0.5 km	昭39.11.13
	宮城県気仙沼市地内	1.7 km	昭54. 3.13他
	宮城県本吉郡南三陸町地内	0.5 km	昭48.10.19

（オ）都市公園・風致地区

（略）

4　変更する公園区域

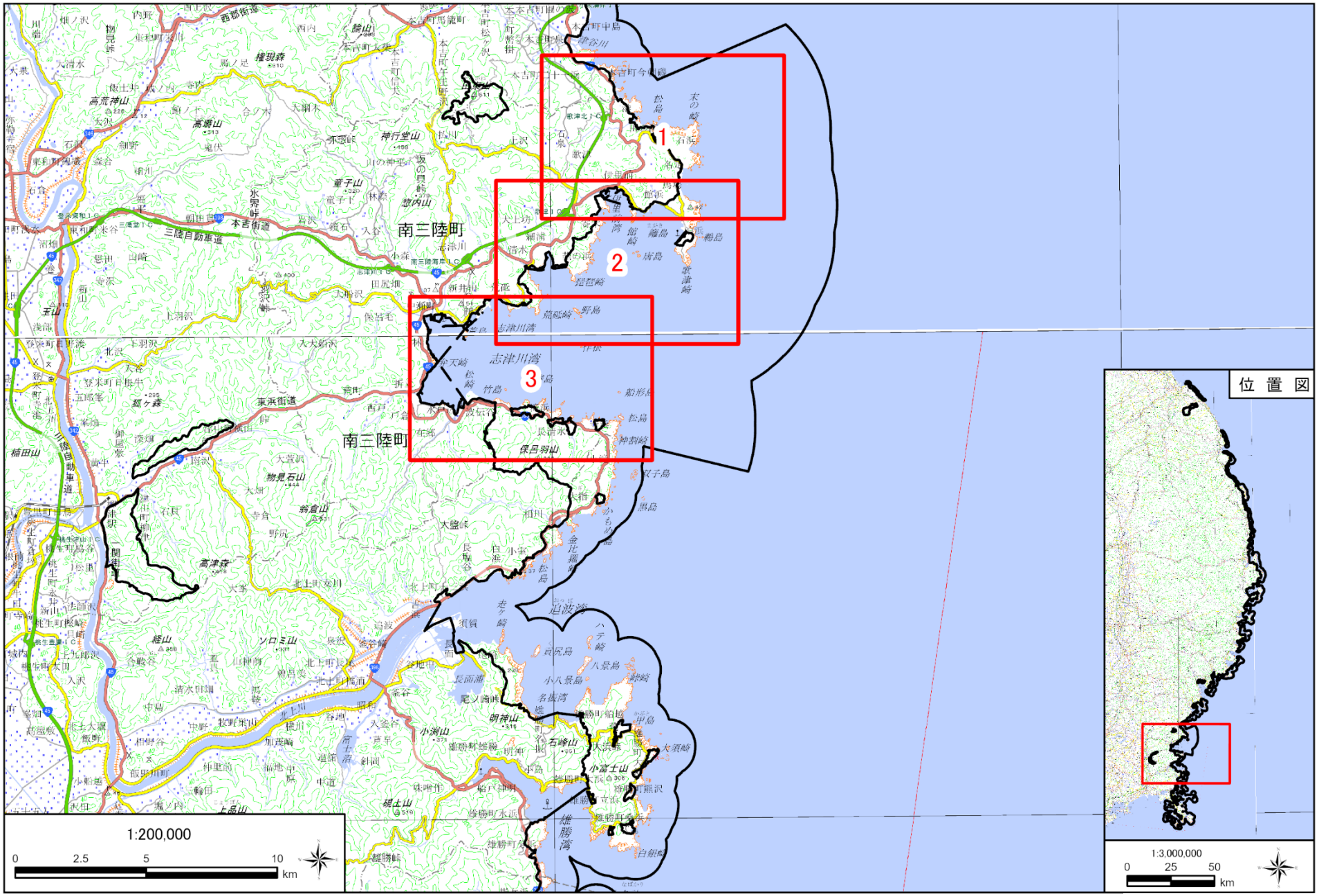
三陸復興国立公園の区域の一部を次のとおり変更する。

（表３：公園区域（海域）変更表）

番号	区分	変更部分の区域	変更理由	面積（ha）
1	拡張	宮城県本吉郡南三陸町 歌津字浪板、歌津字港、歌津字田の浦、歌津字南の沢、歌津字館浜、歌津字管の浜、歌津字伊里前、歌津字町向、歌津字白浜、歌津字尾崎、歌津字韮の浜、歌津字西田、歌津字細浦、歌津字森山、歌津字清水浜、志津川字北の又、志津川字平貝、志津川字蒲の沢、志津川字袖浜、志津川字旭ヶ浦、志津川字大森町、志津川字本浜町、志津川字南町、志津川字塩入、志津川字大久保、志津川字林、志津川字黒崎、戸倉字脇の沢、戸倉字折立、戸倉字長須賀、戸倉字小涼、戸倉字小浜、戸倉字水戸辺、戸倉字戸倉、戸倉字若宮、戸倉字滝浜の地先海面の一部	主に湾奥部の河口・干潟・砂浜海岸等の潮間帯を含む海域であり、特に干潟は底生動物の貴重な生息地として相当の規模を有しており、生物多様性の保全の上でも重要であることから公園区域に含めることで、生息環境の保護と適正な利用の推進を図る。	429
			変更部分 面積計	429
			変更前 公園面積	72,835
			変更後 公園面積	73,264

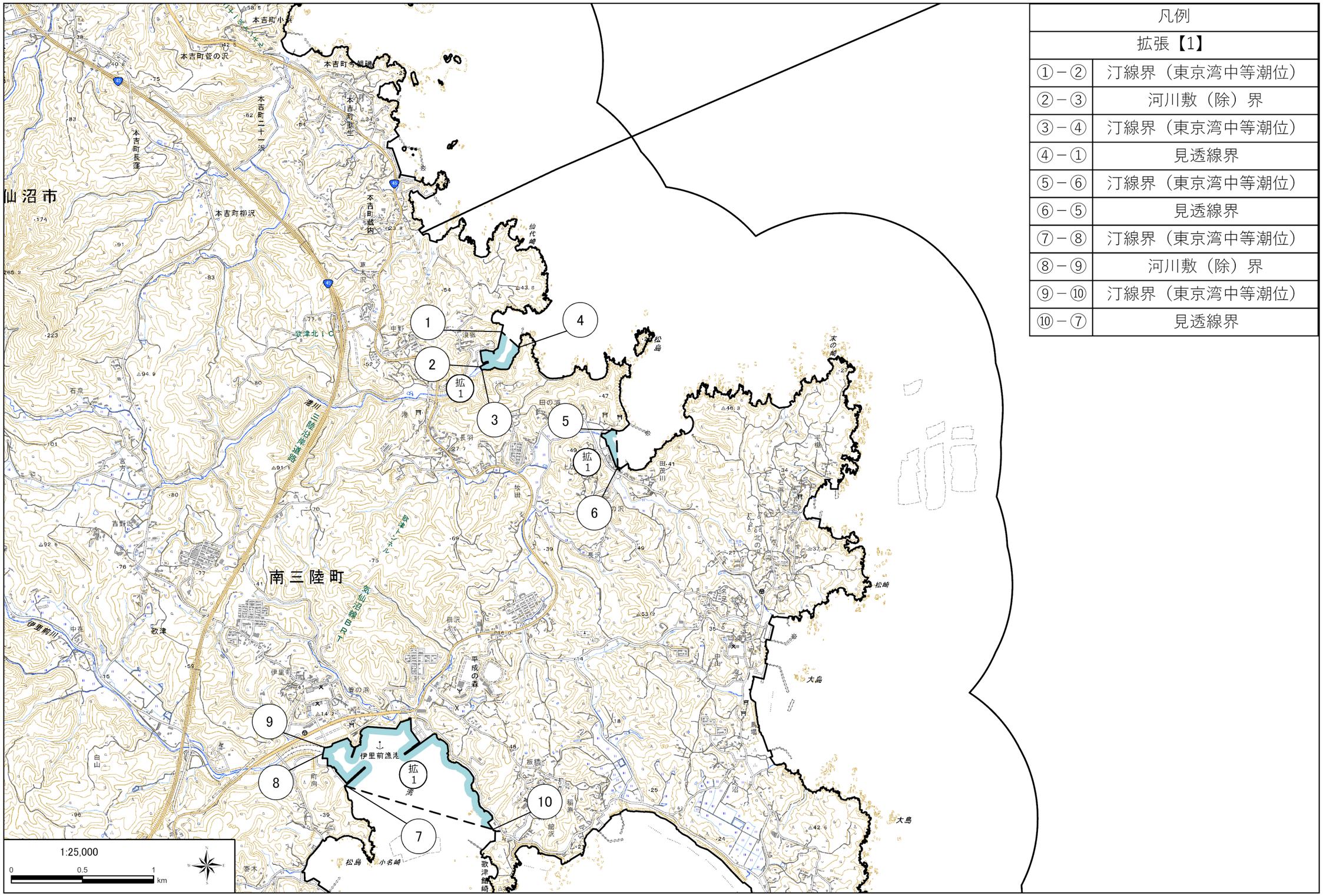
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R8JHf　162
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を
得なければならない。

三陸復興国立公園　区域変更図　位置図　1



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R8JHf　162
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

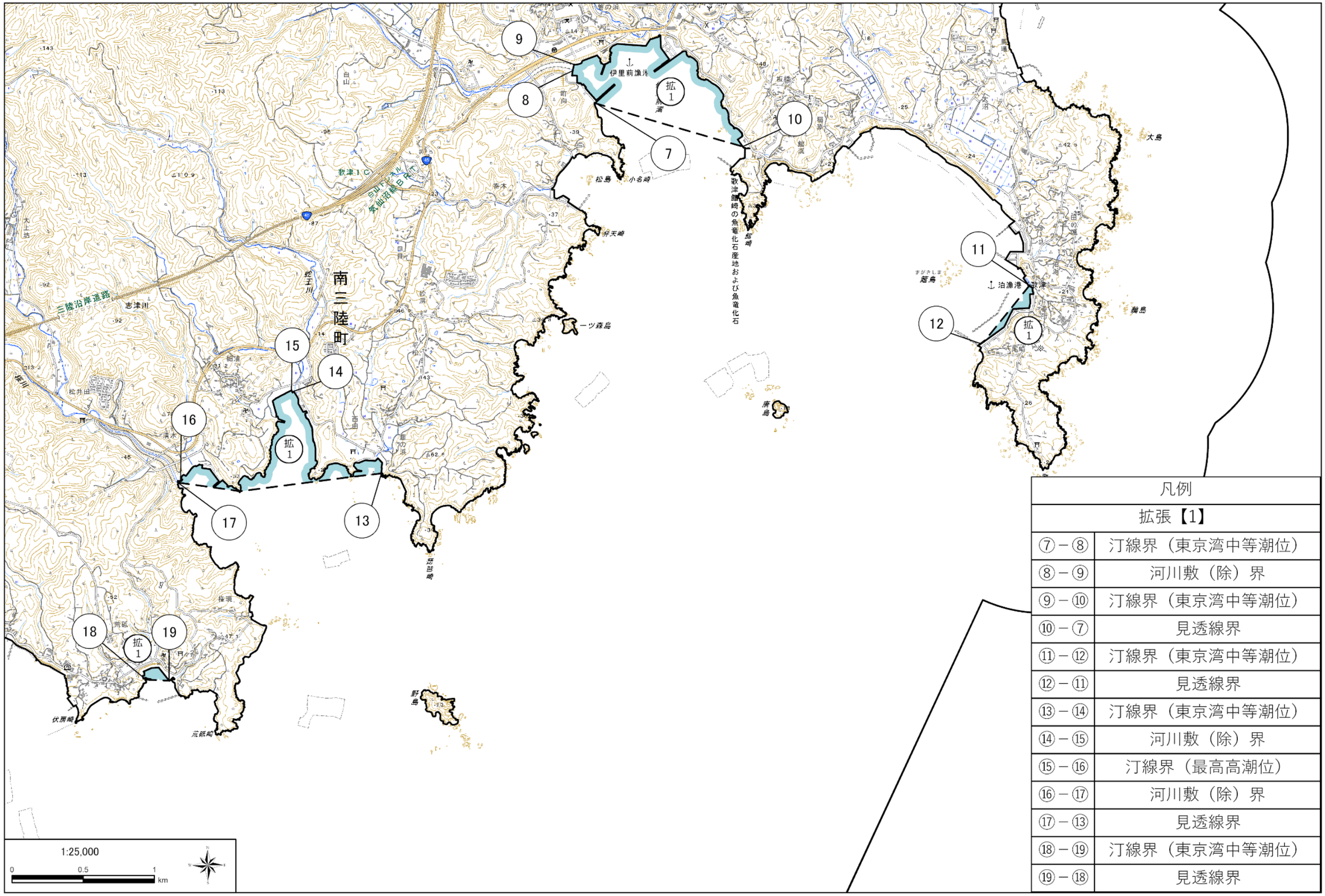
三陸復興国立公園区域変更図　1



凡例	
拡張【1】	
①－②	汀線界（東京湾中等潮位）
②－③	河川敷（除）界
③－④	汀線界（東京湾中等潮位）
④－①	見透線界
⑤－⑥	汀線界（東京湾中等潮位）
⑥－⑤	見透線界
⑦－⑧	汀線界（東京湾中等潮位）
⑧－⑨	河川敷（除）界
⑨－⑩	汀線界（東京湾中等潮位）
⑩－⑦	見透線界

測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R8JHf　162
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を
得なければならない。

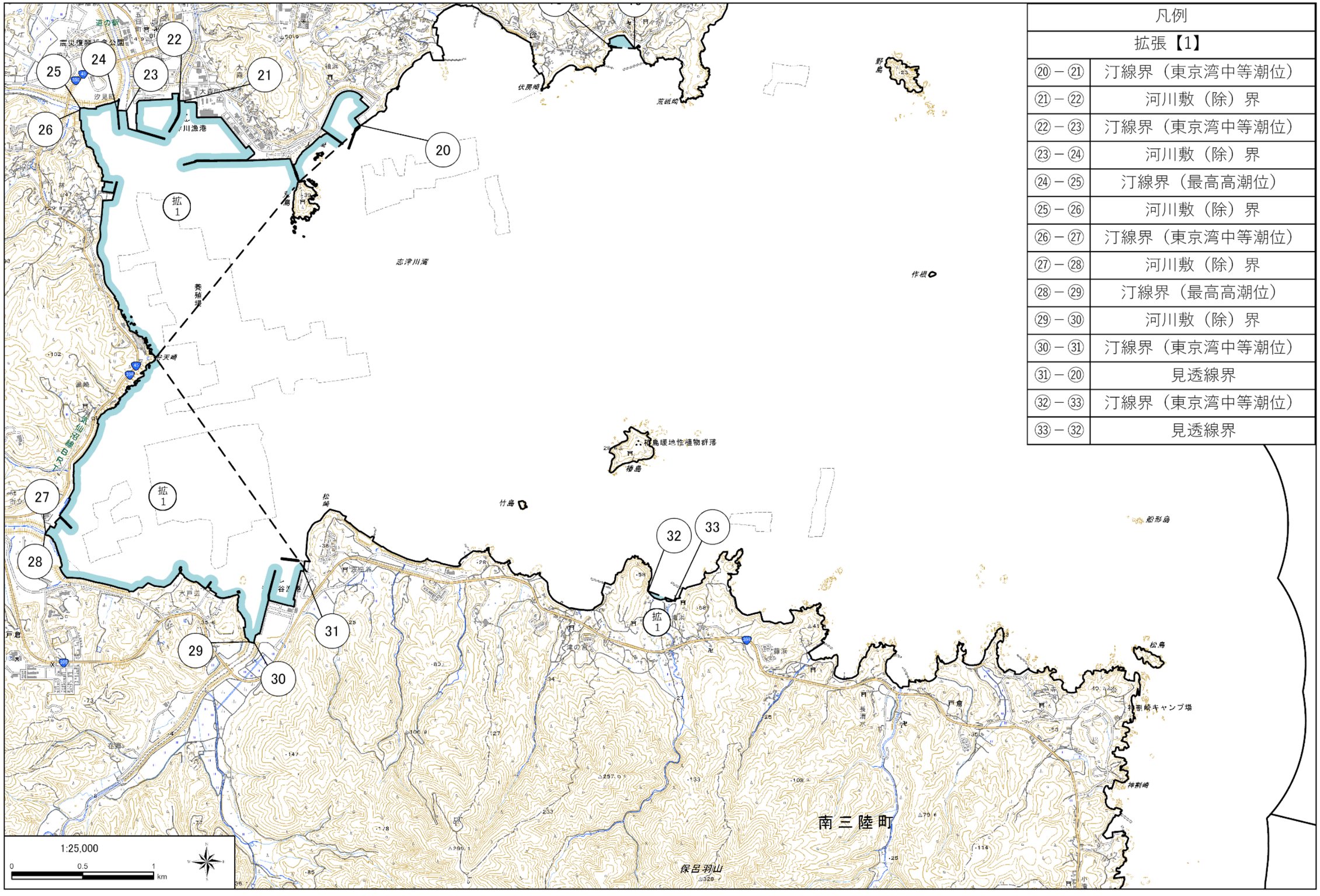
三陸復興国立公園区域変更図　2



凡例	
拡張【1】	
⑦－⑧	汀線界（東京湾中等潮位）
⑧－⑨	河川敷（除）界
⑨－⑩	汀線界（東京湾中等潮位）
⑩－⑦	見透線界
⑪－⑫	汀線界（東京湾中等潮位）
⑫－⑪	見透線界
⑬－⑭	汀線界（東京湾中等潮位）
⑭－⑮	河川敷（除）界
⑮－⑯	汀線界（最高高潮位）
⑯－⑰	河川敷（除）界
⑰－⑬	見透線界
⑱－⑲	汀線界（東京湾中等潮位）
⑲－⑱	見透線界

測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R8JHf 162
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を
得なければならない。

三陸復興国立公園区域変更図　3



凡例	
拡張【1】	
⑳－㉑	汀線界（東京湾中等潮位）
㉑－㉒	河川敷（除）界
㉒－㉓	汀線界（東京湾中等潮位）
㉓－㉔	河川敷（除）界
㉔－㉕	汀線界（最高高潮位）
㉕－㉖	河川敷（除）界
㉖－㉗	汀線界（東京湾中等潮位）
㉗－㉘	河川敷（除）界
㉘－㉙	汀線界（最高高潮位）
㉙－㉚	河川敷（除）界
㉚－㉛	汀線界（東京湾中等潮位）
㉛－⑳	見透線界
㉜－㉝	汀線界（東京湾中等潮位）
㉝－㉜	見透線界

第２　公園計画の変更

１　変更理由

グリーン復興ビジョンにある７つのプロジェクトの一つである森・里・川・海のつながりの再生を進め、豊かな生物多様性を有する自然環境を創出するため、本公園に隣接する海域において、リアス地形の湾奥部にある干潟等潮間帯の生物多様性の保全上重要な地域を評価し、既存の海域公園地区と一体的に海域景観の維持及び適正な利用を図るため、公園計画の一部変更を行い、南三陸町沿岸海域公園地区を志津川湾湾奥部の河口や干潟の潮間帯へ拡張する。

２　規制計画の変更内容

（１）　保護規制計画等

保護規制計画等の一部を次のとおり変更する。

ア　海域公園地区

次の海域公園地区の区域の一部を変更する。

（表４：海域公園地域変更表）

番号	区分	名称	位置	告示 年月日	変更理由	変更面積 (ha)	変更後 面積 (ha)
1	拡張	南三陸町沿岸	宮城県本吉郡 南三陸町 地先海面の一部	平成 30 年 3 月 27 日	主に湾奥部の河口・干潟・砂浜海岸等の潮間帯を含む海域であり、特に干潟は底生動物の貴重な生息地として相当の規模を有しており、生物多様性の保全の上でも重要であることから海域公園地区の区域に含めることで、生息環境の保護と適正な利用の推進を図る。	429	6,222

イ　関連事項

（ア）捕獲等規制動植物及び区域

海域公園地区において、捕獲若しくは殺傷又は採取若しくは損傷を規制する動植物及びその区域の一部を次のとおり変更する。

（表５：捕獲等規制動植物及び区域変更表）

番号	区分	海域公園地区名	区域	地区の概要	変更理由	変更面積（ha）	変更後面積（ha）	変更する捕獲等規制動植物
1	拡張	南三陸町沿岸	全域	南三陸町の志津川湾を中心とした地先海面は、リアス海岸、岩礁、海食海岸等の多様な海岸景観と一体となった優れた内湾景観を形成しており、湾奥部は東日本大震災による津波の影響を受けたものの、底生動物の貴重な生息地として干潟としての回復が見込まれる。	主に湾奥部の河口・干潟・砂浜海岸等の潮間帯を含む海域であり、特に干潟は底生動物の貴重な生息地として相当の規模を有しており、生物多様性の保全の上でも重要であることから公園区域に含めることで、生息環境の保護と適正な利用の推進を図る。	429	6,222	変更なし

番号	区分	海域公園地区名	区域	地区の概要	変更理由	変更面積（ha）	変更後面積（ha）	変更する捕獲等規制動植物
				また、暖流及び寒流がぶつかる海洋環境により、寒海性と暖海性の海藻藻場が共存する生物多様性の豊かな海域となっており、北東本州における代表的な藻場である。 藻場周辺には稚魚及び小型の水生生物が見られ、海草等を餌とするコクガン、シノリガモ等の野鳥の生息地となっており、ダイビング、スノーケリング等のレクリエーション並びに環境教育の場としても活用されている。				

ウ　面積内訳

地域地区別土地所有別及び市町村別面積は次のとおりとなる。

（表６：地域地区別土地所有面積総括表）　　（単位：面積 ha、比率％）

地域区分		特別地域												普通地域（陸域）			合計（陸域）			海域公園地区※	普通地域（海域）※	合計（海域）※
地種区分		特別保護地区			第１種特別地域			第２種特別地域			第３種特別地域											
土地所有別		国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私			
青森県	土地所有別面積	0	0	0	16	1	51	36	5	108	27	29	2,100	5	8	37	84	43	2,296			
	地種区分別面積（比率）						68（0.2）			149（0.5）			2,156（7.5）									
	地域地区別面積（比率）			0（0.0）									2,373（8.3）									
	地域別面積（比率）												2,373（8.3）			50（0.2）			2,423（8.5）			
岩手県	土地所有別面積	317	78	43	352	98	329	1,645	983	2,356	372	998	1,786	2	502	1,371	2,688	2,659	5,885			
	地種区分別面積（比率）						779（2.7）			4,984（17.5）			3,156（11.0）									
	地域地区別面積（比率）			438（1.5）									8,919（31.3）									
	地域別面積（比率）												9,357（32.8）			1,875（6.6）			11,232（39.4）			
宮城県	土地所有別面積	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			
	地種区分別面積（比率）						1,439（5.0）			3,360（11.8）			9,373（32.8）									
	地域地区別面積（比率）			410（1.4）									14,172（49.6）									
	地域別面積（比率）												14,582（51.1）			304（1.1）			14,886（52.1）	1ヶ所 7,084（9.7）	66,180（90.3）	73,264（100.0）
合計県	土地所有別面積	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			
	地種区分別面積（比率）						2,286（8.0）			8,493（29.8）			14,685（51.5）									
	地域地区別面積（比率）			848（3.0）									25,464（89.2）									
	地域別面積（比率）												26,312（92.2）			2,229（7.8）			28,541（100.0）	1ヶ所 7,084（9.7）	66,180（90.3）	73,264（100.0）
																			合計（陸域・海域）			101,811

※海域は国の所有に属する公共水面であり、県別に面積を示すことはできないため、三陸復興国立公園全体の数値を示している。

※※土地所有別面積について、南三陸金華山国定公園からの編入区域は復興事業による買上げ等により計測できないため、青森県及び岩手県の数値のみ記載している。

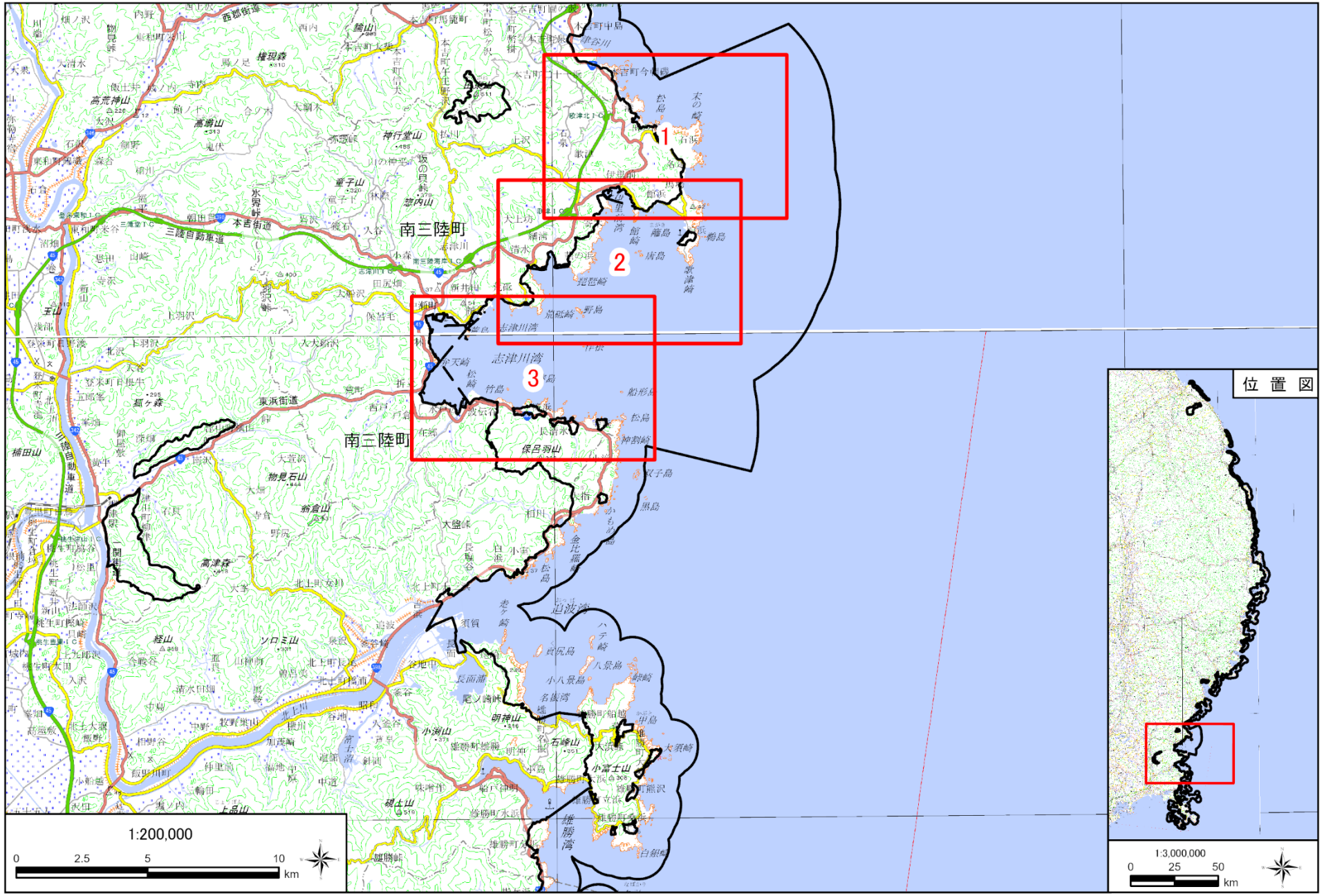
（表７：地域地区別市町村別面積総括表）　　（単位：ha）

市町村名			変更前 特別地域 特保	第1種	第2種	第3種	小計	普通地域（陸域）	合計（陸域）（A）	海域公園地区	普通地域（海域）	合計（海域）（A’）	変更後 特別地域 特保	第1種	第2種	第3種	小計	普通地域（陸域）	合計（陸域）（B）	海域公園地区※	普通地域（海域）※	合計（海域）（B’）※	増減 陸域（B-A）	海域（B’-A’）
青森県	八戸市		0	28	145	38	211	48	259				0	28	145	38	211	48	259				0	
	三戸郡	階上町	0	40	4	2,118	2,162	2	2,164				0	40	4	2,118	2,162	2	2,164				0	
小計			0	68	149	2,156	2,373	50	2,423				0	68	149	2,156	2,373	50	2,423				0	
岩手県	宮古市		42	476	1021	541	2,080	660	2,740				42	476	1021	541	2,080	660	2,740				0	
	大船渡市		0	26	232	1,401	1,659	0	1,659				0	26	232	1,401	1,659	0	1,659				0	
	久慈市		0	120	174	290	584	17	601				0	120	174	290	584	17	601				0	
	陸前高田市		6	0	164	0	170	0	170				6	0	164	0	170	0	170				0	
	釜石市		37	0	1,144	345	1,526	0	1,526				37	0	1,144	345	1,526	0	1,526				0	
	上閉伊郡	大槌町	0	4	211	74	289	1	290				0	4	211	74	289	1	290				0	
	下閉伊郡	山田町	261	102	1,457	283	2,103	48	2,151				261	109	1,450	283	2,103	48	2,151				0	
		岩泉町	0	0	135	0	135	26	161				0	0	135	0	135	26	161				0	
		田野畑村	92	0	201	57	350	643	993				92	0	201	57	350	643	993				0	
		普代村	0	44	222	51	317	478	795				0	44	222	51	317	478	795				0	
	九戸郡	野田村	0	0	30	114	144	2	146				0	0	30	114	144	2	146				0	
小計			438	772	4,991	3,156	9,357	1,875	11,232				438	772	4,991	3,156	9,357	1,875	11,232				0	
宮城県	石巻市		377	1,081	1,902	5,661	9,021	256	9,277				377	1,081	1,902	5,661	9,021	256	9,277				0	
	気仙沼市		0	107	442	666	1,215	48	1,263				0	107	442	666	1,215	48	1,263				0	
	登米市		0	0	57	757	814	0	814				0	0	57	757	814	0	814				0	
	牡鹿郡	女川町	26	106	654	1,029	1,815	0	1,815				26	106	654	1,029	1,815	0	1,815				0	
	本吉郡	南三陸町	7	145	303	1,260	1,715	0	1,715				7	145	303	1,260	1,715	0	1,715				0	
小計			410	1,439	3,356	9,373	14,578	304	14,884				410	1,439	3,358	9,373	14,580	304	14,884				0	
合計			848	2,286	8,491	14,685	26,310	2,229	28,539	6,655	66,180	72,835	848	2,286	8,491	14,685	26,310	2,229	28,539	7,084	66,180	73,264	0	429

※海域は国の所有に属する公共水面であり、県別に面積を示すことはできないため、三陸復興国立公園全体の数値を示している。

測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R8JHf 162
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を
得なければならない。

三陸復興国立公園　保護規制計画変更図　位置図　1

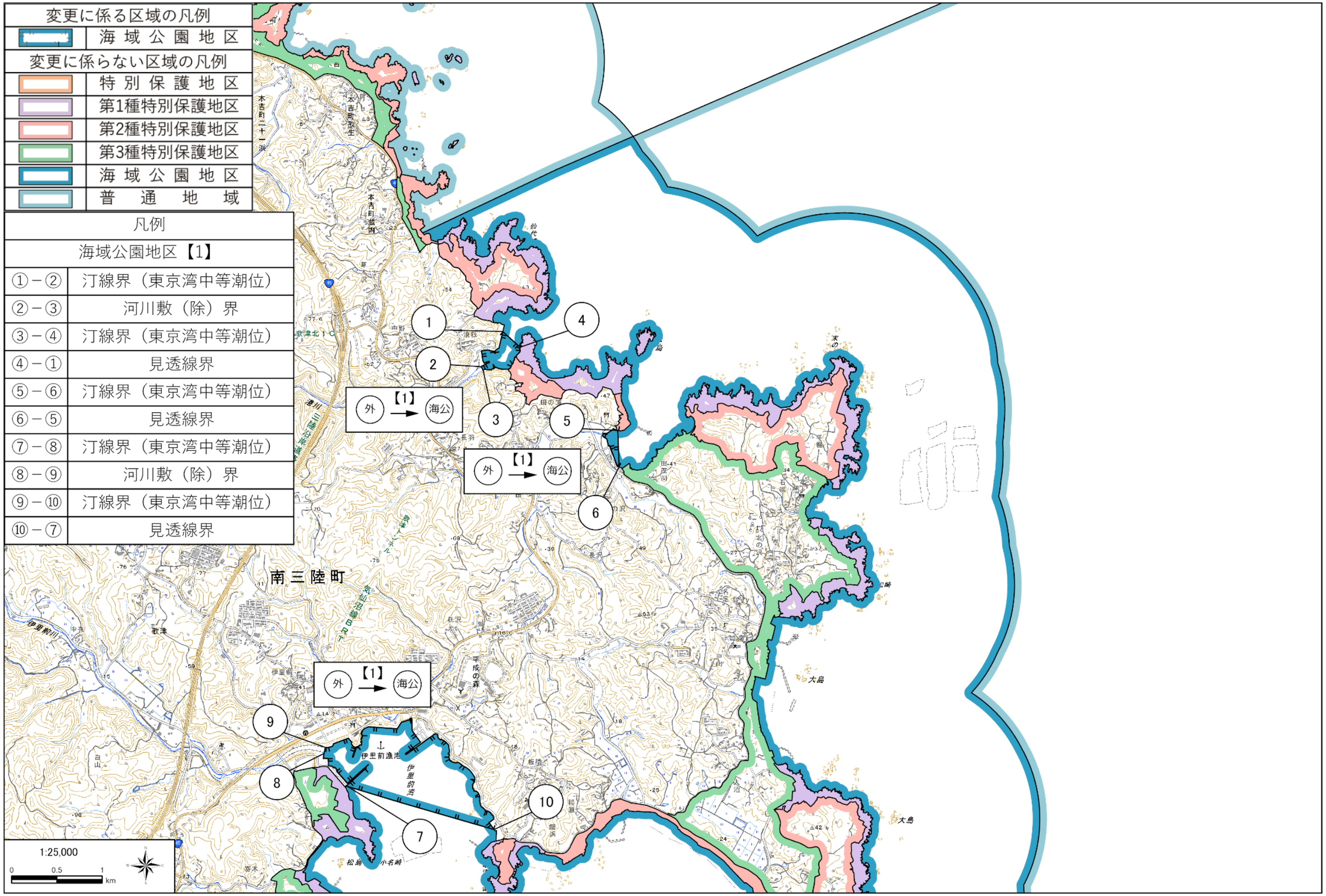


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R8JHf　162
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を
得なければならない。

三陸復興国立公園　保護規制計画変更図　1

変更に係る区域の凡例	
	海域公園地区
変更に係らない区域の凡例	
	特別保護地区
	第1種特別保護地区
	第2種特別保護地区
	第3種特別保護地区
	海域公園地区
	普通地域

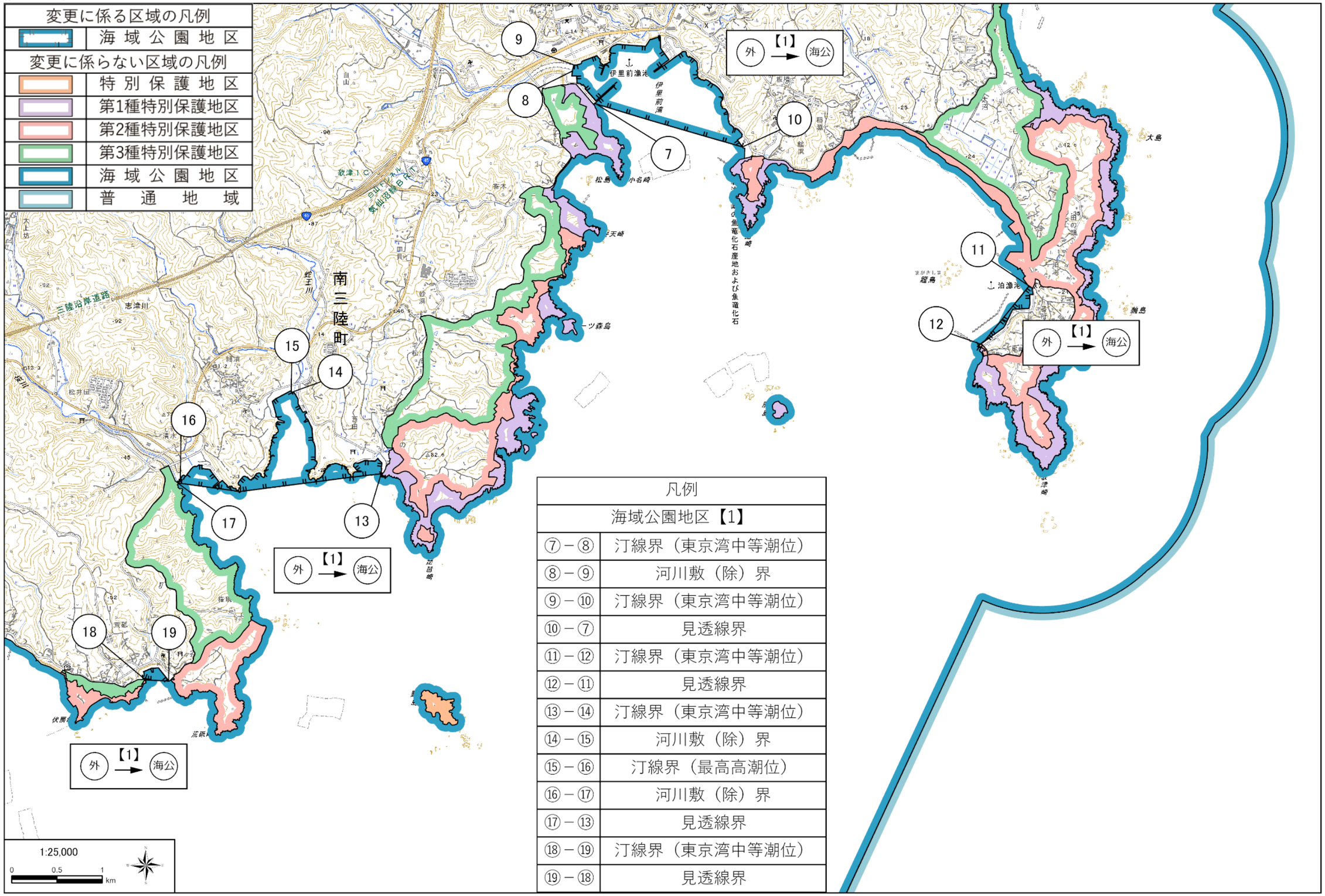
凡例	
海域公園地区【1】	
①－②	汀線界（東京湾中等潮位）
②－③	河川敷（除）界
③－④	汀線界（東京湾中等潮位）
④－①	見透線界
⑤－⑥	汀線界（東京湾中等潮位）
⑥－⑤	見透線界
⑦－⑧	汀線界（東京湾中等潮位）
⑧－⑨	河川敷（除）界
⑨－⑩	汀線界（東京湾中等潮位）
⑩－⑦	見透線界



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R8JHf　162
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を
得なければならない。

三陸復興国立公園　保護規制計画変更図　2

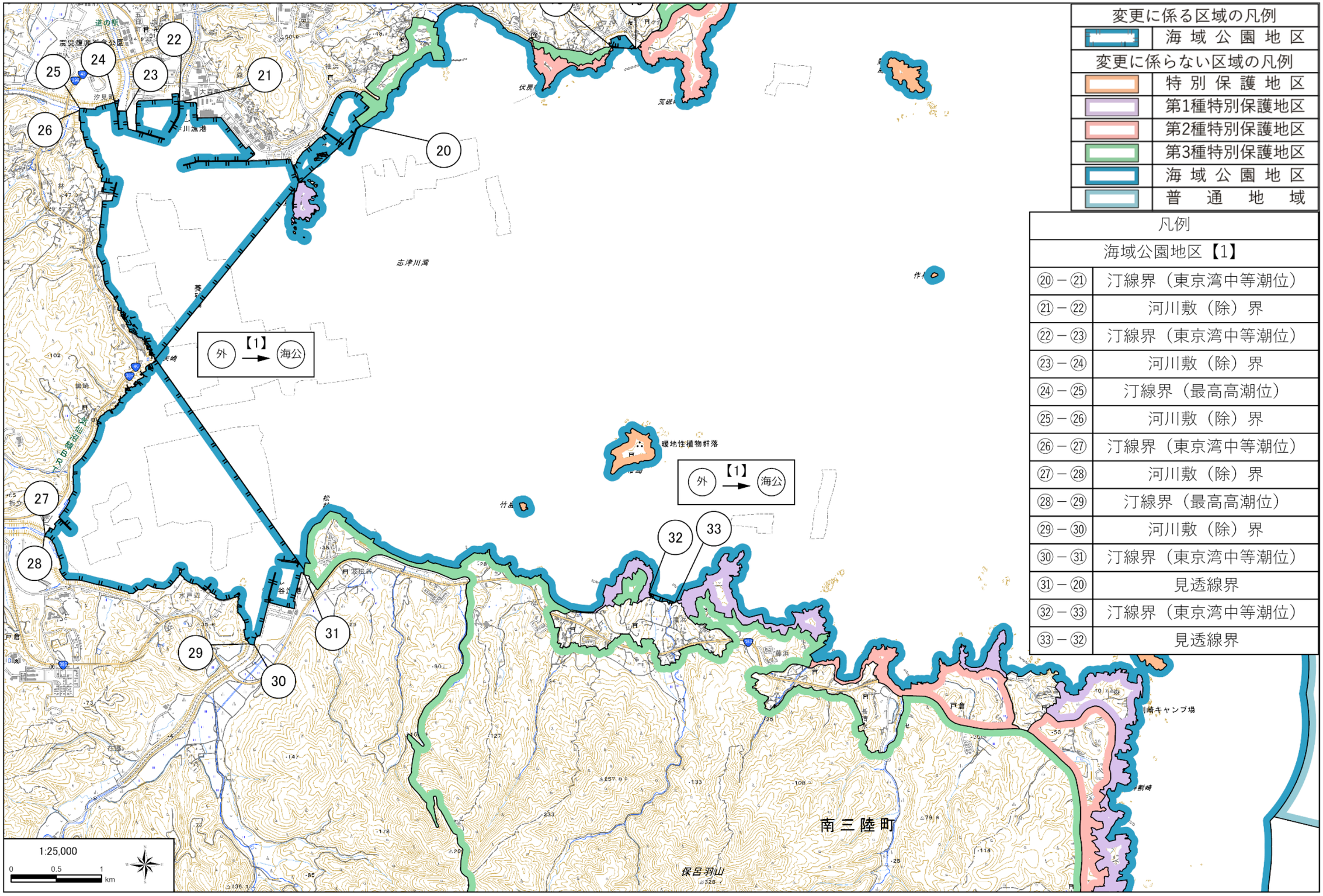
変更に係る区域の凡例	
	海域公園地区
変更に係らない区域の凡例	
	特別保護地区
	第1種特別保護地区
	第2種特別保護地区
	第3種特別保護地区
	海域公園地区
	普通地域



凡例	
海域公園地区【1】	
⑦－⑧	汀線界（東京湾中等潮位）
⑧－⑨	河川敷（除）界
⑨－⑩	汀線界（東京湾中等潮位）
⑩－⑦	見透線界
⑪－⑫	汀線界（東京湾中等潮位）
⑫－⑪	見透線界
⑬－⑭	汀線界（東京湾中等潮位）
⑭－⑮	河川敷（除）界
⑮－⑯	汀線界（最高高潮位）
⑯－⑰	河川敷（除）界
⑰－⑬	見透線界
⑱－⑲	汀線界（東京湾中等潮位）
⑲－⑱	見透線界

測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R8JHF 162
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

三陸復興国立公園　保護規制計画変更図　3

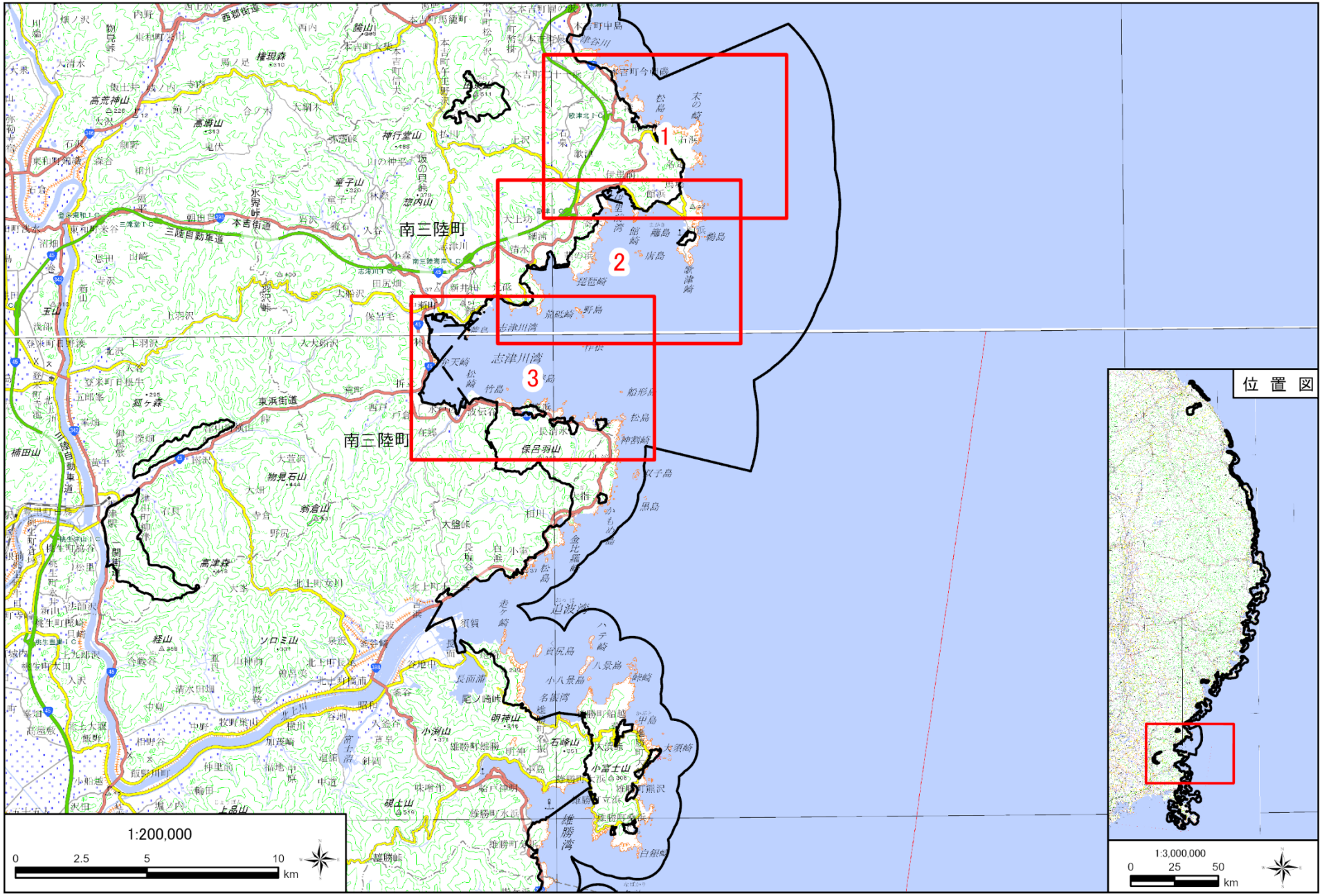


変更に係る区域の凡例	
	海域公園地区
変更に係らない区域の凡例	
	特別保護地区
	第1種特別保護地区
	第2種特別保護地区
	第3種特別保護地区
	海域公園地区
	普通地域

凡例	
海域公園地区【1】	
⑳－㉑	汀線界（東京湾中等潮位）
㉑－㉒	河川敷（除）界
㉒－㉓	汀線界（東京湾中等潮位）
㉓－㉔	河川敷（除）界
㉔－㉕	汀線界（最高高潮位）
㉕－㉖	河川敷（除）界
㉖－㉗	汀線界（東京湾中等潮位）
㉗－㉘	河川敷（除）界
㉘－㉙	汀線界（最高高潮位）
㉙－㉚	河川敷（除）界
㉚－㉛	汀線界（東京湾中等潮位）
㉛－⑳	見透線界
㉜－㉝	汀線界（東京湾中等潮位）
㉝－㉜	見透線界

測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R8JHf　162
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を
得なければならない。

三陸復興国立公園　捕獲等規制区域変更図　位置図　1

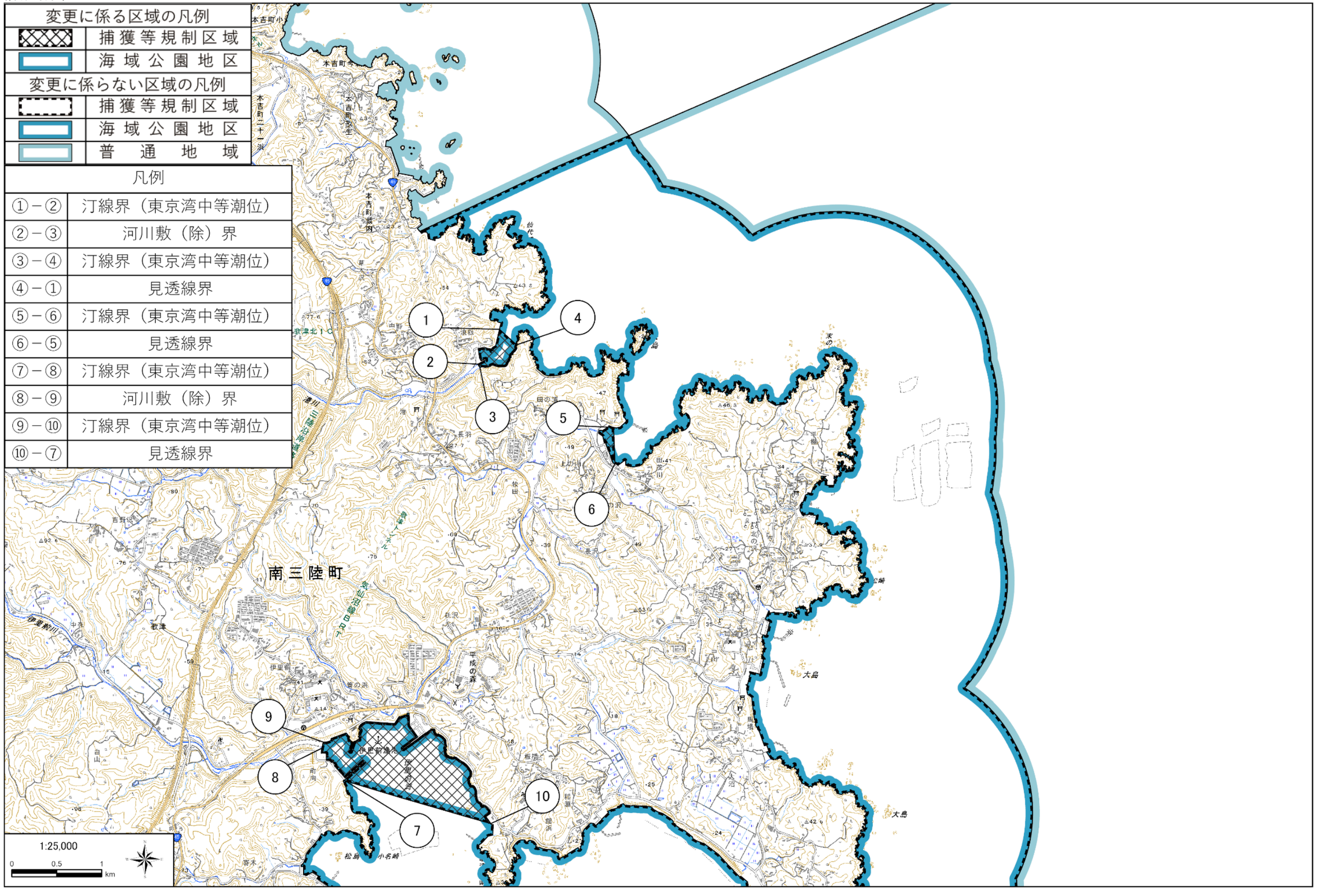


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R8JHf 162
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

三陸復興国立公園　捕獲等規制区域変更図　1

変更に係る区域の凡例	
	捕獲等規制区域
	海域公園地区
変更に係らない区域の凡例	
	捕獲等規制区域
	海域公園地区
	普通地域

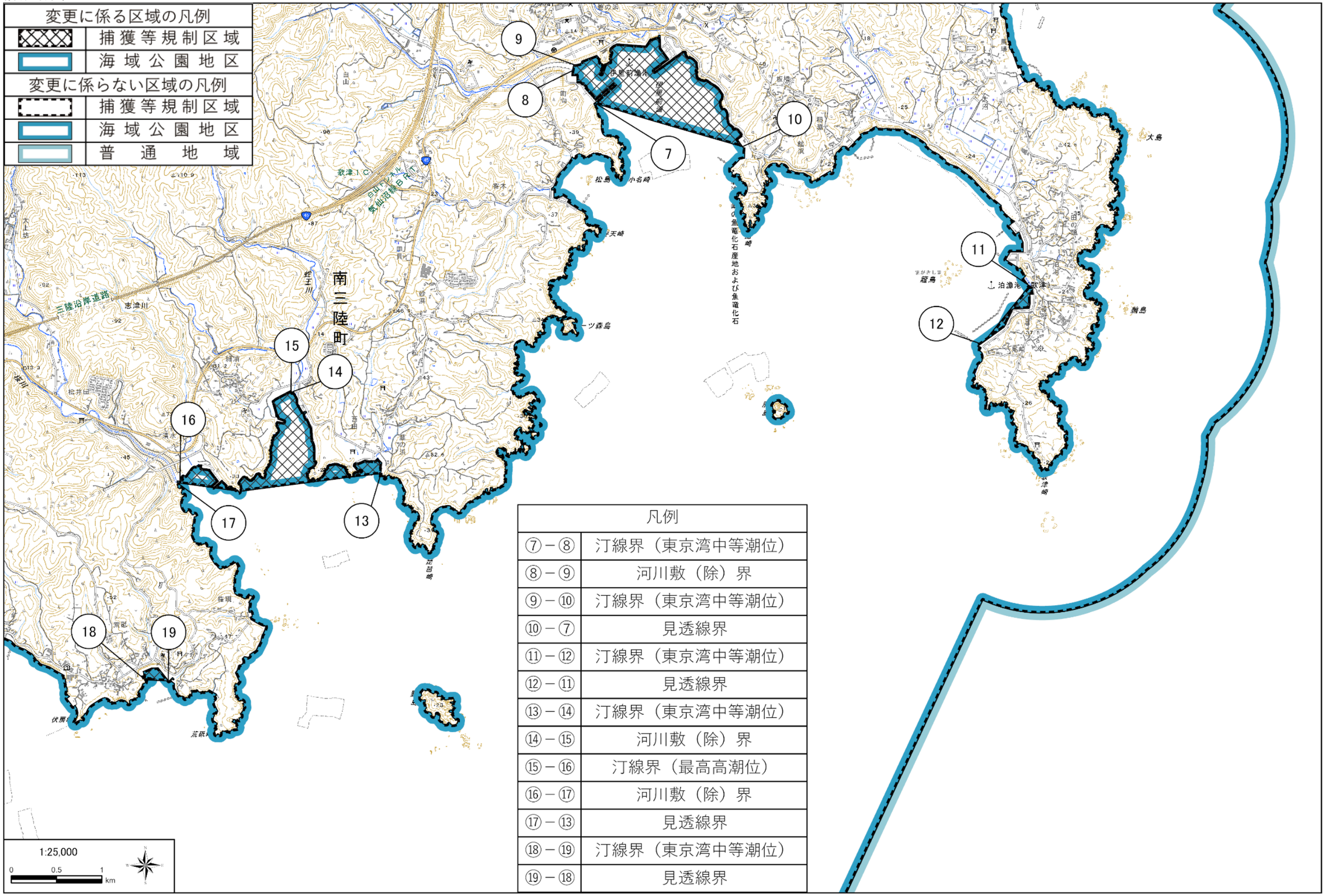
凡例	
①－②	汀線界（東京湾中等潮位）
②－③	河川敷（除）界
③－④	汀線界（東京湾中等潮位）
④－①	見透線界
⑤－⑥	汀線界（東京湾中等潮位）
⑥－⑤	見透線界
⑦－⑧	汀線界（東京湾中等潮位）
⑧－⑨	河川敷（除）界
⑨－⑩	汀線界（東京湾中等潮位）
⑩－⑦	見透線界



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R8JHf 162
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

三陸復興国立公園　捕獲等規制区域変更図　２

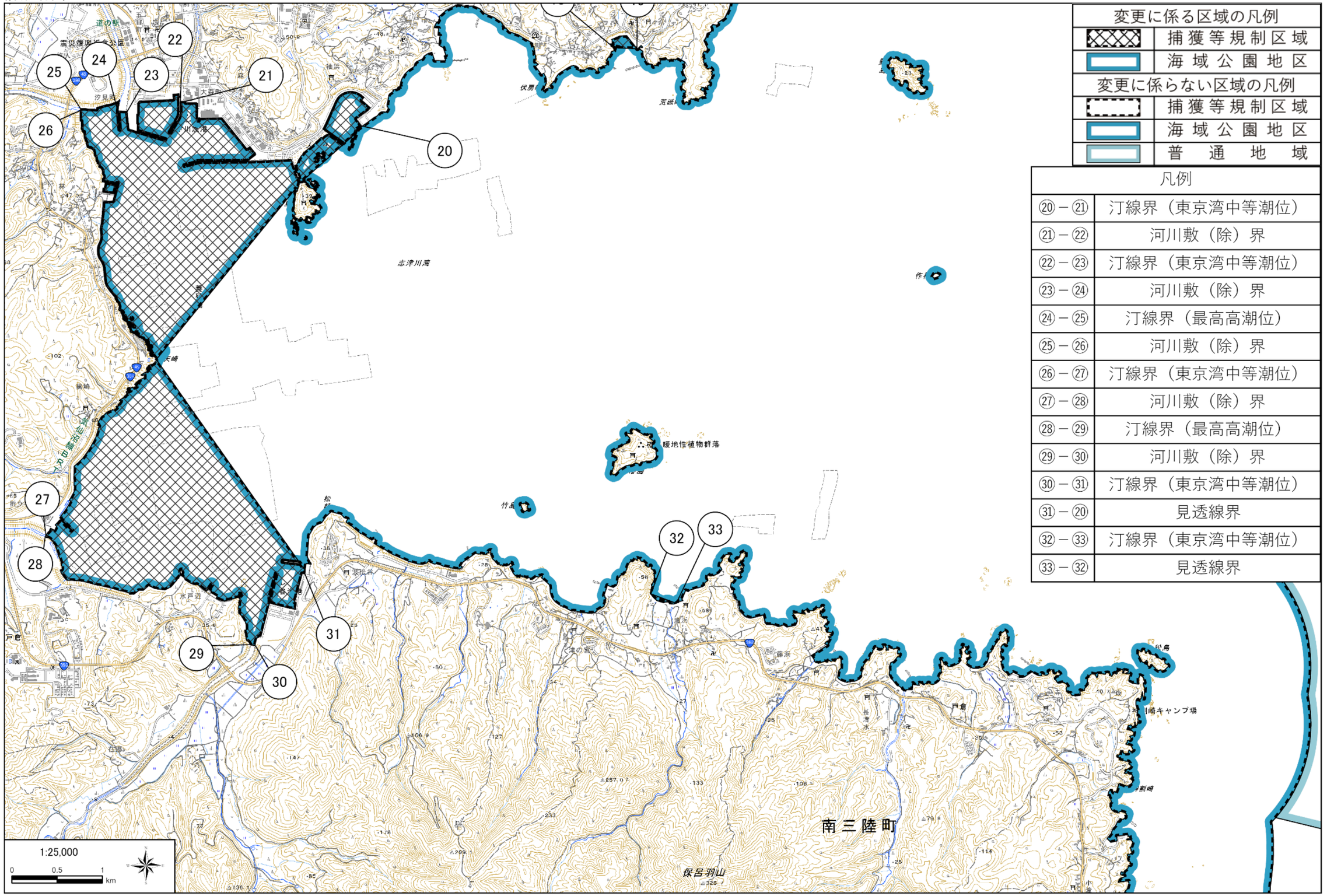
変更に係る区域の凡例	
	捕獲等規制区域
	海域公園地区
変更に係らない区域の凡例	
	捕獲等規制区域
	海域公園地区
	普通地域



凡例	
⑦－⑧	汀線界（東京湾中等潮位）
⑧－⑨	河川敷（除）界
⑨－⑩	汀線界（東京湾中等潮位）
⑩－⑦	見透線界
⑪－⑫	汀線界（東京湾中等潮位）
⑫－⑪	見透線界
⑬－⑭	汀線界（東京湾中等潮位）
⑭－⑮	河川敷（除）界
⑮－⑯	汀線界（最高高潮位）
⑯－⑰	河川敷（除）界
⑰－⑬	見透線界
⑱－⑲	汀線界（東京湾中等潮位）
⑲－⑱	見透線界

測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R8JHf 162
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を
得なければならない。

三陸復興国立公園　捕獲等規制区域変更図　3



変更に係る区域の凡例	
	捕獲等規制区域
	海域公園地区
変更に係らない区域の凡例	
	捕獲等規制区域
	海域公園地区
	普通地域

凡例	
⑳－㉑	汀線界（東京湾中等潮位）
㉑－㉒	河川敷（除）界
㉒－㉓	汀線界（東京湾中等潮位）
㉓－㉔	河川敷（除）界
㉔－㉕	汀線界（最高高潮位）
㉕－㉖	河川敷（除）界
㉖－㉗	汀線界（東京湾中等潮位）
㉗－㉘	河川敷（除）界
㉘－㉙	汀線界（最高高潮位）
㉙－㉚	河川敷（除）界
㉚－㉛	汀線界（東京湾中等潮位）
㉛－⑳	見透線界
㉜－㉝	汀線界（東京湾中等潮位）
㉝－㉜	見透線界

3　事業計画の変更内容

（1）自然体験活動計画

自然体験活動を次のとおりとする。

1．本計画の対象地域

三陸復興国立公園南三陸金華山地域歌津・志津川・戸倉地区

2．自然体験活動で対象とする当該公園の自然、人文文化の特徴

本地区は、北太平洋に面する三陸海岸の南部に位置する内湾である志津川湾を中心とし、志津川湾を囲む歌津半島及び戸倉半島の海岸沿いの陸域からなっている。志津川湾は、リアス海岸、岩礁、海食海岸等の多様な海岸景観が一体となった優れた内湾景観を形成しており、海岸沿いには砂泥地や干潟も存在している。また、寒流である親潮、暖流である黒潮、津軽暖流の３つの海流の影響を受け、寒海性と暖海性の海藻藻場が共存し、藻場周辺には稚魚及び小型の水生生物が見られる生物多様性の豊かな海域であり、海藻等を餌とするコクガン等の渡り鳥の越冬地になっていることから、ラムサール条約湿地にも登録されている。歌津半島の歌津館崎の海食崖からは魚竜の化石が産出し、学術的な価値も高い。戸倉半島の先端の神割崎は、海洋による浸食で二つに割れた奇岩の間に、波が入り込んでしぶきを上げる景勝地であり、例年２月中旬と 10 月下旬頃には、二つの岩の間から登る日の出を望むことができる。

本地区は、東日本大震災の被害を受け、一時的に藻場の消長が不明な状態になり、干潟環境が劣化したが、南三陸町において「森里海ひと いのちめぐるまち 南三陸」が町の将来像として掲げられ、地域全体での自然に配慮した持続可能な利用を目指した管理が進められていることで、藻場や干潟が回復傾向にあり、環境教育も含んだ志津川湾のワイズユース（賢明な利用）を学ぶことができる自然体験の機会を提供できる高い潜在的可能性を秘めている。

3．質の高い自然体験活動の促進に係る方針

本地区では、次の方針により質の高い自然体験活動を促進する。

ア）本地区の魅力の最大化とコンテンツの磨き上げ

本地区の特徴的な魅力であるリアス海岸、海食海岸等の内湾景観がもつ自然の迫力や寒流と暖流がもたらす豊かな生物相を体験できるコンテンツの造成を進めると同時に既存のコンテンツの磨き上げを行い、自然体験活動を促進する。

イ）地域資源の持続的な活用の推進及び魅力の発信

森里海において一体的に自然に配慮した持続可能な活用を推進し、ワイズユース（賢明な利用）の実現を目指す。また、志津川湾沿岸に設定されている長距離自然歩道である東北太平洋岸自然歩道（みちのく潮風トレイル）の取組みとの連携を通じて、トレイルハイカーの関心も高めつつ、国立公園としての魅力の発信に努める。

これらによって、自然体験を提供する地域関係者とその利用者双方が、自然資源や自然と密接につながった地域資源を持続的に活用することの重要性を認識するとともに、地元住民の地域理解の向上を図り、様々な主体の連携による地域資源の管理体制の構築及び強化を行う。

さらに、質の高い自然体験を持続的に提供できるよう、受益者負担の仕組み導入を図る。

ウ）地域資源の継続的なモニタリングの実施

気候変動に伴う水温上昇による出現種の変化等の地域資源への影響を継続的に把握し、影響に対応するため、一次産業従事者や研究者、教育機関が連携し、自然体験活動のフィールドにてモニタリングを実施する。また、モニタリング結果を活用した良質な自然体験や教育プログラムの造成を推進するために、連携体制を構築する。

エ）自然の脅威を伝える自然体験活動の提供

防災の視点、ならびに震災伝承を基盤として、自然の恵みだけでなく、脅威を伝える自然体験活動の推進を行う。

オ）ガイド能力の向上と地域資源の磨き上げ

地域で活動するガイドの把握に努めるとともにガイド能力の向上を図る。また、ガイドの、本地区ならではの自然や文化の魅力を紹介できる地域人材をコーディネートする能力を高めることで、自然体験活動に携わる関係者の専門的な知識の底上げ及び連携を深める。さらに、地域資源を磨き上げ、魅力あるストーリーでつなぎ、自然体験等の深化を図ることにより、参加者の満足度を向上させる。

キ）宿泊施設との連携体制の構築

自然体験活動を提供する事業者と宿泊事業者の連携体制を構築し、宿泊を伴う自然体験活動を促進する。

ク）公園の利用上のマナーの周知及びルールの遵守・制定

地域で生業を営む事業者や地域資源を尊重し、地域の生活、産業、文化に負荷がかからないよう配慮するとともに、利用者に対する利用上のマナーの周知を図る。自然体験等においても漁業関係のルールを遵守するとともに、地域資源を損ねない利用方法のルールを定める。

自然体験等の参加者の安全を確保するため、自然体験等を提供する事業者やガイドが実施すべき安全対策を定める。

４．地域ごとに促進する自然体験活動

各地区に促進する自然体験活動は次のとおり

ア）歌津半島

魚竜の化石が産出された場所である歌津館崎周辺での化石観察会等の自然体験活動

イ）志津川湾

志津川湾での漁業体験、養殖体験、シーカヤック、SUP（スタンドアップパドルボード）、HOBIE（足漕ぎカヤック）、シュノーケリング、ダイビング、ヨット体験、南三陸ワイナリーが実施する海中熟成ワイン体験イベント、志津川湾観光船でのクルージング、湾奥の干潟でのベントス調査の教育プログラム、釣り、磯観察、海洋ゴミに関する体験等の自然体験活動

ウ）戸倉半島

神割崎でのキャンプ、南三陸・海のビジターセンターからのバードウォッチング、みちのく潮風トレイルルート上でのハイキング等の自然体験活動